



平成 25 年 11 月 12 日

各 位

会社名 平田機工株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 平田 雄一郎  
 (コード番号:6258)  
 問合せ先 取締役執行役員 安高 純一郎  
 管理本部長  
 (電話096-272-5558)  
 (URL <http://www.hirata.co.jp>)

## 第 2 四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成25年5月13日に公表した第2四半期業績予想と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。  
 また、最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月13日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績値との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

### 1) 連結業績予想と実績値の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	22,000	500	400	250	23.79
実績値 (B)	22,236	833	776	502	48.02
増減額 (B-A)	236	333	376	252	
増減率 (%)	1.1	66.8	94.2	101.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	16,496	△444	△485	△354	△33.77

### 2) 個別業績予想と実績値の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	18,000	100	50	30	2.86
実績値 (B)	17,125	361	311	170	16.28
増減額 (B-A)	△874	261	261	140	
増減率 (%)	△4.9	261.3	522.2	467.7	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	11,980	△897	△945	△625	△59.50

2. 平成26年3月期業績予想の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

1) 平成26年3月期 通期連結業績予想値の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	42,000	700	500	300	28.55
今回修正予想（B）	48,000	1,400	1,300	1,000	95.57
増減額（B－A）	6,000	700	800	700	
増減率（%）	14.3	100.0	160.0	233.3	
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	38,146	450	394	284	27.12

2) 平成26年3月期 通期個別業績予想値の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	34,000	200	100	60	5.71
今回修正予想（B）	35,000	500	500	250	23.89
増減額（B－A）	1,000	300	400	190	
増減率（%）	2.9	150.0	400.0	316.7	
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	28,162	△371	△259	△92	△8.84

3. 差異及び修正理由

1) 平成26年3月期第2四半期業績予想と実績値の差異

当第2四半期の個別業績につきましては、当社が想定した予想為替レートよりも相場が円安基調で推移したことから、海外向けの受注案件の売上高が期初予想をやや上回ったものの、一部案件の売上が第3四半期以降にずれ込んだ結果、売上高は期初予想をやや下回る結果となりました。

利益面につきましては、原価率の圧縮により、営業利益、経常利益、四半期純利益は期初予想を上回りました。

当第2四半期の連結業績につきましては、一部案件の売上が第3四半期以降にずれ込んだものの、国内関係会社及びアメリカ、中国を中心とした海外関係会社が概ね売上を増やした結果、売上高は予想をやや上回りました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、原価率の圧縮により、営業利益、経常利益、四半期純利益は期初予想を上回りました。

2) 平成26年3月期業績予想の修正

通期の個別業績予想につきましては、今期中に売上予定の案件の受注が堅調に推移していることから、売上高を上方修正するものです。

また、売上高増加に加え、原価率の低減により利益も増加する見込みとなったことから、利益につきましても期末予想を上方修正いたします。

通期の連結業績予想につきましては、個別業績予想の修正理由に加え、関係会社の業績が概ね堅調に推移する見込みであること、更に、国内2社の関係会社の会計期間を変更することとなり、ずれた期間分の業績を連結業績に加算する会計処理となる見込みのため、売上高を上方修正いたします。

利益につきましても売上高増、原価率低減により増加する見込みとなったことから、上方修正いたします。